

# 元気なまちかど

クイズを解いて甲賀市へいらっしやい

土山サービスエリアで甲賀市をPR

土山サービスエリアで開催されたイベントで9月21日、市観光推進室と甲賀市観光協会、信楽町観光協会とが訪れた方に市にまつわるクイズを出題し、観光スポットや市内のイベントをPRしました。

問題は、「土山宿は東海道五十三次の何番目か」などです。

三択問題で、選択した平仮名を並べると、全問正解であれば、ある単語になるという仕掛け。参加者は、楽しみながら問題に挑戦し、信楽町観光協会のマスケットキャラクター・ぼんぼちゃんとのじゃんけん勝負に勝った全問正解者は、見事商品を獲得していました。

長野県から訪れた参加者は「サービスエリアができて以来ずっと利用している。甲賀市のイベントにも参加してみたい」と話していました。



▲ぼんぼちゃんとじゃんけん勝負を繰り広げる参加者

## 親子で災害に備える

信楽子育て支援センター

子育て講習「消防車に乗ろう・避難訓練」が9月26日、信楽子育て支援センターで開催され、親子15組が防災の知識を深めました。

この講習は、9月の防災月間に合わせ毎年行われているもので、甲賀広域行政組合信楽消防署の消防士2名が講師として参加しました。

親子は、地震や火災から身を守る方法を学んだ後、センターから火災が発生したという想定で避難訓練を行いました。また、消火器の使い方や訓練用の水消火器を使って学びました。

講師は「災害が発生した時は『もしも』という気持ちに切り替え、早めの避難を心がけて」と呼びかけ、参加者は、自分自身や子どもの命を守るうと真剣に聞き入っていました。



▲消火器の使い方を学ぶ親子

## 昔ながらの米作りを体験

佐山小学校

昔ながらの米の収穫を10月1日、佐山小学校児童19名が行いました。

同小学校では毎年、6年生を中心に季節を通じて学校の側にある「わくわく田んぼ」で農業体験を行っています。

この日は、わくわく田んぼ運営協議会委員として参加している地域の皆さん16名に教わりながら、一株ずつ丁寧に刈り取った後、足踏み脱穀機を使って脱穀「唐箕」と呼ばれる農具で籾を選別しました。

同協議会の河合定郎会長は「昔は全てが手作業。米作りの苦労を知り、感謝の気持ちをもって食べてほしい」と汗を流しながら作業する子どもたちの様子に目を細めていました。

収穫された米を使い、11月9日に「わくわくフェスティバル」で餅つきが行われます。



▲「唐箕」を使い籾を選別

## 繰り広げられる迫力の演舞

第15回「ござれGO-SHU!」



▲ファイナルで演舞を披露する「KOUGA彩風舞人」

「江州音頭」などの郷土民謡をアレンジした曲で、自由に踊りを競い合う滋賀県版よさこいまつり「ござれGO-SHU!」が9月28日、水口センチュリーホテル駐車場をメインに水口町4会場で開催されました。

この大会は、組織委員会が主催し、今年で15回目を迎えます。

市内から参加した「KOUGA彩風舞人」「BBBC」のほか、県内外から24チームが参加し、迫力の演舞を披露しました。

一緒になって踊り始める子どもたちもいるなど、観客は、次々と繰り広げられる熱気あふれるパフォーマンスに魅了されていました。

## アロマで介護生活に潤いを

甲南公民館くらしとまちづくり講座

甲南公民館が実施する福祉講座が9月28日、同館で「アロマで介護予防」をテーマに実施され、市内6名の方がアロマを介護に取り入れる方法を学びました。

アロマアドバイザーの木戸京子さんが講師となり、アロマの香りが心身のリラクゼーション効果だけでなく、精油の成分が安眠や殺菌作用など様々な良い作用をもたらすことを説明しました。また、オイルを使って手をマッサージする「ハンドトリートメント」を実際に行い、参加者は、手のぬくもりと香りの心地よさを実感しました。

ヘルパーをしているという参加者は、「身近な方にぜひマッサージしてあげたい」と話していました。

※11月16日には冬のアロマ講座が開催されます。詳しくは情報のまど(1Fページ)をご覧ください。



▲「ハンドトリートメント」の方法を学ぶ参加者

## 綾野学区と県立大がまちづくりコラボ

綾野いいね!ウォーキング

「綾野いいね!ウォーキング」が9月21日、綾野小学校区内で行われ、学区内や他地域から住民や大学生ら30名が参加しました。

綾野自治振興会が滋賀県立大学の夏季集中講義とコラボしたこの企画は、市外に住む学生らと一緒にまちを歩き、見慣れた景色をいつもと違った気持ちで見つめなおすのが目的です。

参加者はカメラを手に、大池寺や水口神社などに向かう3班に分かれ、「いいね!」と思った風景をフィルムに収めて回りました。その後、各班の撮影した風景について発表が行われ、地元の人にも語れなかったものや魅力的な人物など「地域の宝物がたくさん見つかりました」。

発表後、参加者は「素通りしていた景色の意味や歴史を知り、見方が変わりました。」と話していました。



▲観光ボランティアの案内で大池寺を散策する参加者